

あやめ池学園南九条の会



戦争を起こすのは人間、止めるのも人間だ

戦争と人間の関係についての座標軸をしっかりもってほしい。

本当の戦争体験を通して身につけた私自身の座標軸です。

戦争は決して天災や地変ではない、ということです。

九条は日本の兵士やアジアのおびただしい人民を殺し、殺された人々の血がしみこんでいる条文です。

紛争を戦争にしない力と紛争を戦争に持っていく力があるが、憲法九条二項は紛れもなく前者の最大の力であって 21 世紀的な思想です。

国民は二度と戦争はしないと決意した。

しかし、支配政党は当時から、一度もそうした決意をしていない「ねじれ」があるということです。

今や憲法という旗は、自衛隊を海外派兵するまでボロボロになったが、その旗竿は国民がしっかり握っています。

九条二項を守る現在の意義は何か

国民投票で国民が「ノー」といえば、過去の保守政権の政治形態を全部否定してかかることになり、内閣の総辞職ぐらいではすみません。日中関係、東北アジアの関係も変わる。

日米関係ひいてはアメリカの世界戦略も変えざるをえなくなる。

そういう種類の問題なのです。

これからが国民の出番です。

憲法九条二項を守ることは「現状維持」ではなく「現状の変革」になる

日本が憲法九条二項を守って「21 世紀型の平和秩序」をリードする方向に向かえば、これほど大きな世界史的な出来事はありません。

私たちはそういう世界史的な時に遭遇できたということです。

このことは、この時代に生き、切り開いていく者に勇気を与えます。

それがこの運動に参加するわれわれの最大の心の支えではないでしょうか。

日本人の力と良心を示すべき時が来ました。

品川正治（しなかわまさはる） 経済同友会終身幹事 12/6 講演より

新年明けまして
おめでとうございませ
今年も、憲法九条を守るため
全力を尽くします

昨年の取り組みから

3/5 : 準備会立ち上げ

6/25 : 結成のつどい(80名)

7/15 : ニュース第1号

9/24 : 第1回ちらし配付

10/22 : ざっくばらん車座ト
ーク(30名)

10/23 : 第2回ちらし配付

11/12 : 「ギターと歌声とお話
しと」木津川計講演
(287名)

12/3 : 呼びかけ人 63名、賛
同人 41名に

12/10 : ニュース No.5 発行

新春企画(生駒九条の会 2周年記念)の紹介

記念講演 「そう〜べえ 憲法を語る」画家・絵本作家 田島征彦さん

2007年1月27日1時開場 生駒市北コミュニティセンター (無料)

「地獄のそう〜べえ」でおなじみの作家、講演の後 サインセールも



発行責任者 吉川好胤 あやめ池南1丁目3-32 tel 44-0416 <http://e-nara.jpn.ch/> ayameike9jo@hotmail.com 2007.1.9